



Real Money EXchange

White Paper

Japanese V 1.0

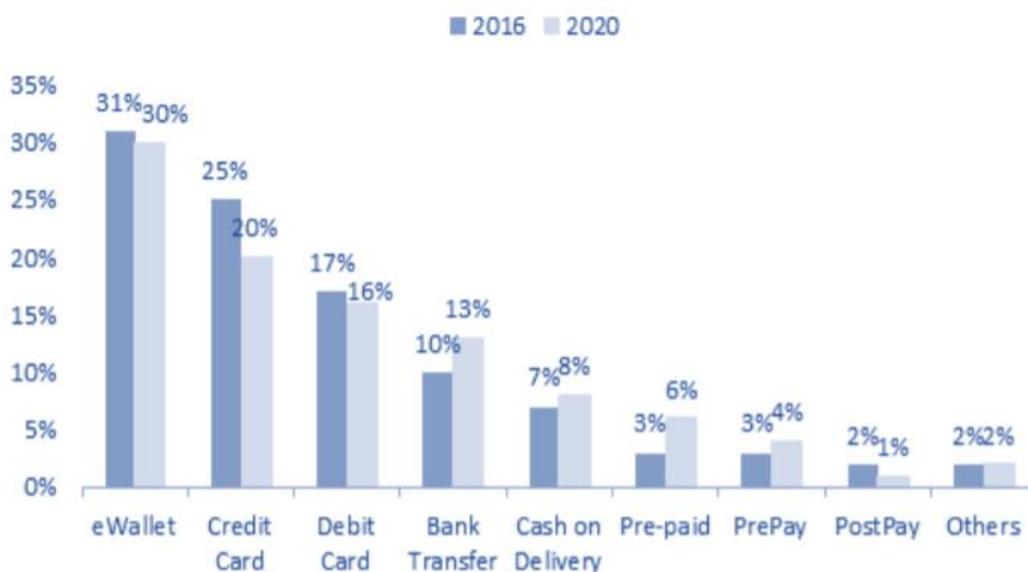
金融の脅威と代案

グローバル金融システムは年々成長しています。世界のデジタル決済(Digital Payment)市場は、2017年に346億5,000万ドルの記録し、2026年には1,686億ドルに至ると期待しています。1) ところが、金融電子システムは、費用と処理速度の遅延による無駄な仲介人(Middle man) のために、大きな費用の負担を始め、様々な問題を引き起こしています。金融決済システムは送金サービスのような金融仲介機関の45%が毎年諸種の犯罪による被害を受けています。これは金融経済の37%がリスクにさらされていることを意味しています。また、規制費用が持続的に増加し、これによる金融機関の費用が丸ごと使用者に転嫁されています。

金融ブロックチェーンは、JPモーガンチェイス、シティグループ、クレジットスイスのような金融機関の主要な売り物として見え始めて、少ない費用で最も多いビジネスを処理し、プロセスのリスクを減少させるための代案として浮かび上がりました。しかし、現在のブロックチェーン産業の環境はそのような問題点を完璧に解消するには力不足です。

結局、信頼の問題と内外部の脅威に対する、完璧な代案はないでしょうか？真の解決策、それこそ金融の暗号通貨、RMX(Real Money Exchange)です。

金融取引で参加者の信頼を価値に転換し、検証されてない決済(送金)システムからの被害を遮断し、多くの既存の消費者が参加できます。RMXが求めるコミュニティに基づいた価値の信頼性と、事業の成長性の確保を通して、グローバルブロックチェーンの新たな道を拓いていきたいと思えます。



1) ソース: ジュニアリサーチ(Juniper Research)



Real Money EXchange

Table of Contents

-Preface-

- 序文 -

1 Background

事業の背景

2 Market Analysis

市場分析

3 RMX Introduce

RMX 紹介

4 RMX Service Platform

プラットフォームサービス

5 Why we say ITO

ITOが必要な理由

6 Token Spec

トークンの仕様

7 Sales Policy

販売及び運営政策

8 RoadMap

ロードマップ

9 法的告知

未来の為の進歩

人類の知能と高度化なり文明は、相互協力と信頼に基づいています。人間が他の生物の代わりに、地球を支配するよう決める根本的な違いは、高い知能を基にした、複雑なコミュニケーションに依存します。信頼性と相互接続が弱まるほど、脅威と崩壊の恐れは高まります。我らの経済をグローバル貿易・金融・相互協力は中央集中化の負担を背負っています。そして、社会的な纏れが、どの時期より脅威的な要素として、現れました。

ブロックチェーン(blockchain)の出現は、このような局面にて、新たな方向を示しました。この合意システムは、信頼を打ち出し、否認できない合意メカニズムを作ります。我々が信頼できるメカニズムにと払わなければならない費用を、革新的に減少するよう助けます。ブロックチェーンが我々の為にできるのは、単に金融の取引方式の変化だけではありません。暗号通貨は、取引と交流の方法として、一つの方法であるだけです。



金融への新たなコネクションが始まりました。商取引と金融で信頼の不足は、ブロックチェーンが持つ可能性をもっと繰り広げる事を要求しています。インターネットが金融資産のデジタル化を加速させ、この過程で、ネット技術の不透明性と限界が増大し、新たな不安を与えました。資産の安全と信頼の危機は、現在最も大きな脅威となっています。多数の合意から資産の安定性を守るブロックチェーン技術の出現は、現代人に未来の希望を呼び起こすに十分です。

ブロックチェーン(Blockchain)はグローバル信頼性が直面した危機の時代に登場し、暗号通貨は資産保安の為の完璧なソリューションにと浮かび上がりました。ますます多くの人達がブロックチェーンの適用価値にもっと深い関心を示しています。全体の産業で、ブロックチェーン方式による真のグローバル循環通貨は、決して止まりませんでした。

ところが、ブロックチェーン技術を適用するには、まだ当面なる宿題が少なくありません。RMX(Real Money Exchange)は、最も進歩しているソリューションを提供するよう、絶えず研究してきました。ブロックチェーンの最も理想的現実化のモデルを提示し、これを証明するのが我らの目標です。RMXが提示する希望が、世界の為のマスタープランになることを願います。



2010年2月、世界初のコイン取引所が開場しました。そして、技術とトレンドの中心としてブロックチェーンが急浮上しました。以降、今までブロックチェーン・エコノミはどの業界よりも急速に変化しており、これによって、より良い技術とサービスへ飢えるユーザーの要求も段々大きくなっています。

ブロックチェーンのユーザーが求めるのは、

- 第一、分散されたユーザー全てが信頼できる暗号通貨の環境を作る事であり、
- 第二、世界の誰でも制約なく暗号通貨の取引ができる事と、
- 第三、莫大な手数料の利益をとりまとめる既存の銀行を排除し、どの脅威にも動揺する事無く運営される事です。

RMXは、このような趣意に同意するユーザーと心を纏めて、すべての参加者が取引の安定性と、有望な将来の価値を同時に達成するよう願います。



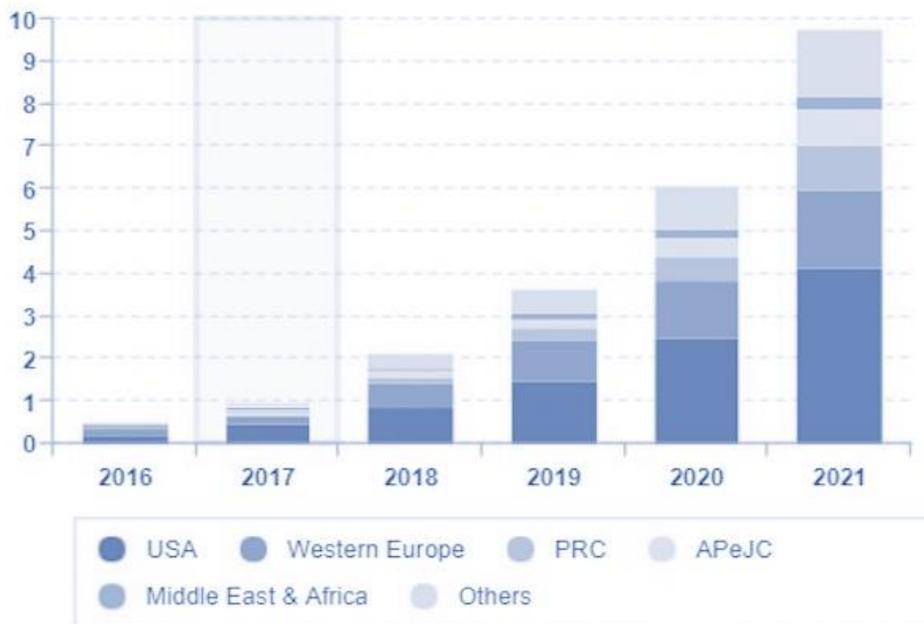
驚くべき革新と成長への期待

KPMGが、IT企業でCレベルのリーダーのアンケート調査を行った結果、回答者もほとんどは、ブロックチェーンが企業の事業システムを変えると信じている、と答えた。今後3年以内にブロックチェーンを導入する、と言う回答が40%を超えました。

IDCの「全世界の半期ブロックチェーン投資ガイド (Worldwide Semiannual Blockchain Spending Guide)」の最新レポートによると、今年のブロックチェーン市場は、昨年15億ドルから88.7%増えた、29億ドル規模となると見通した。IDCは、ブロックチェーン市場が2022年まで年平均76%ずつ速く成長し、124億ドル規模になると見通した。

国別では、アメリカ市場が最も大きく、11億ドル規模となると予想される。続いて、西ヨーロッパ(6億7400万ドル)、中国(3億1900万ドル)の順だった。年平均成長率から見ると日本とカナダが各110%、90%と最も高い水準を記録した。昨年7月、IDCは、全世界のブロックチェーン市場が2021年に97億ドル、2022年1117億ドルまで成長すると見通した。

事業分野別では、国家間の決済と契約が4億5300万ドルで最も大きく、貿易金融とPTS(post-trade transaction settlements)が2億8500万ドルで後を継いだ。



Source: IDC Worldwide Semiannual Blockchain Spending Guide, 2017H1

持続的に成長する市場規模

チェーンニュースの報道では、法曹界、学界、産業界の10人の専門家のうち7人が、2019年ブロックチェーン・暗号通貨市場の最大な話題として「大衆化」を選んだと発表しました。これらは、実生活に適用可能なプロジェクトが登場し、暗号通貨市場が今より大衆化すると予想しました。

- Inefficient data and document management
- Complex regulatory compliance
- Trade-based money laundering and fraud
- Suboptimal equipment utilization
- Costly and cumbersome letter-of-credit process
- Nontransparent pricing and booking
- Complex claims and changes in ownership
- Limited traceability
- Complex process in reverse logistics



バンク・オブ・アメリカ
アメリカは、銀行の顧客企業に対する調査の結果、当該企業が全体のサーバー費用のうち、約2%の5,500ドルをブロックチェーン駆動に活用するという事に根拠を置き、ブロックチェーン市場の規模が70億ドルに達すると推算。



WORLD ECONOMIC FORUM
WEFは、2015年に発表したレポートで、ブロックチェーンサービスの本格的な発火点(ティッピングポイント)をグローバルGDPの10%に達する価値がブロックチェーンプラットフォームに保存される時点だと予測し、これを発表した時点を基準として約10年後の2025年頃と見通す。



BCG
BCGレポートは、潜在的な便益(Potential Benefits)に比べて、実際の導入は非常に遅く進行していると指摘しながら、ブロックチェーンを活用すれば、参加者は信頼できる一つの通路(Single Version of Truth)を提供されるため、情報の非対称性によるリスクを減らせる事に注目。 ²⁾

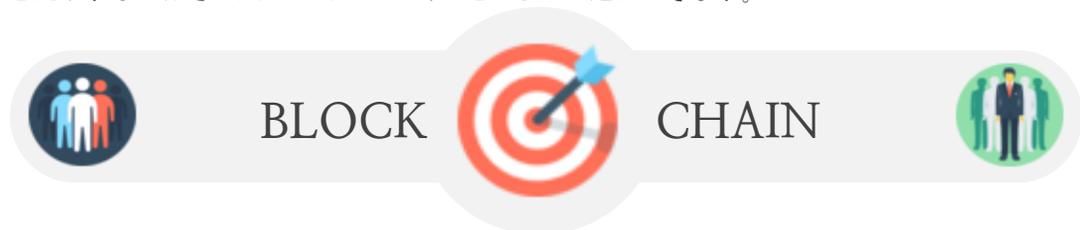
2) ソース: Boston Consulting Group, 2019

市場の問題点は何か

コインマーケットで確認された事だけ推算すると、約2,000個に達するブロックチェーンデジタル資産が存在します。十分に検証されていないブロックチェーンプロジェクトのため、ブロックチェーン市場は痛んでいます。スキーム(Scam)、詐欺、根拠なく確認されていないビジネスプランで、人々はICOに対する不信が高まっています。

ユーザーが取引所のコインに次々と投資する理由は、ビットコインやイーサリアムが見せた信じられない程の成長率の経験を再見したい熱願に起因します。全世界で1億を超える暗号通貨の口座が開設され、ホルダーは驚くべき革新を探し回っています。

それは持続的に開発課題を実行および完了していかなければならず、プロジェクトのビジョンと提示する目標を長期間に守っていくことによって達成できます。



ブロックチェーン技術の必然的な要求に応じて、RMXは、革新とネットワークに対する合意を達成するため、分散設計の原則を採用します。RMXは非中央集積化の方式で、グローバル資産を再定義し、再分配します。RMXは現在と将来の世代に、より公正かつ効率的で、匿名性が保証される自由を提供します。

RMXの生態ネットワーク構築および拡張に、より多くの参加者を参加させるためには、すべてのユーザーに、より安定的な機会を提供しなければなりません。暗号通貨業界をオンラインネットワーク全体に拡大するためには、事業の規則を厳しくする必要があり、RMXがユーザーの要求事項を守る手本になるよう求められています。

技術	ハイブリッド方式で、トランザクションのセキュリティ性と、取引及びサービスの迅速性を同時に提供
発行方式	先進なITO方式で、既存ICOの不正性と検証の制約から脱皮
プラットフォーム	コミュニティとサービス、コンテンツ、ショッピングが交わって、グローバルユーザーのニーズを満たす
検証	多数によって権限が分散されたノードとコミュニティの相互交差式検証で信頼性確保
補償	段階毎のミッション遂行による補償により、個人と生態系全体が共に成長できる、好循環の構造



コミュニ
ティ基盤
信頼・権限

グローバル
非中央集積化
取引

完璧な
匿名取引
制御権

真なる
公正取引
チャンネル

保安基盤
ブロックチェ
ーン
財布サービス



Real Money EXchange

RMX(Real Money Exchange)は非中央集積化としたコミュニティの合意に基づくクリプト・エコノミーネットワークです。

オンラインネットワークに基づいた産業間のコミュニティの信頼を保障し、相互の利益に基づくコンテンツおよびサービスの取引と交流を促進し、補償を提供します。

RMXプラットフォームを通じてトークンエコノミーを構築し、合意した収益を管理しつつ活性化に伴う補償を貰い、これを様々な商品とサービスに利用することができ、クリプトエコシステム上の取引と使用によって収益を創出する事ができます。

RMXは、ブロックチェーン技術とオンラインネットワークサービスを通じて、匿名性を保障され、個人情報に対する保安の脅威から自分自身を守りながらも、取引当事者との間に信頼と認証を透明に管理と制御できる技術及び政策のサポートと、安定的なプラットフォームを提供します。



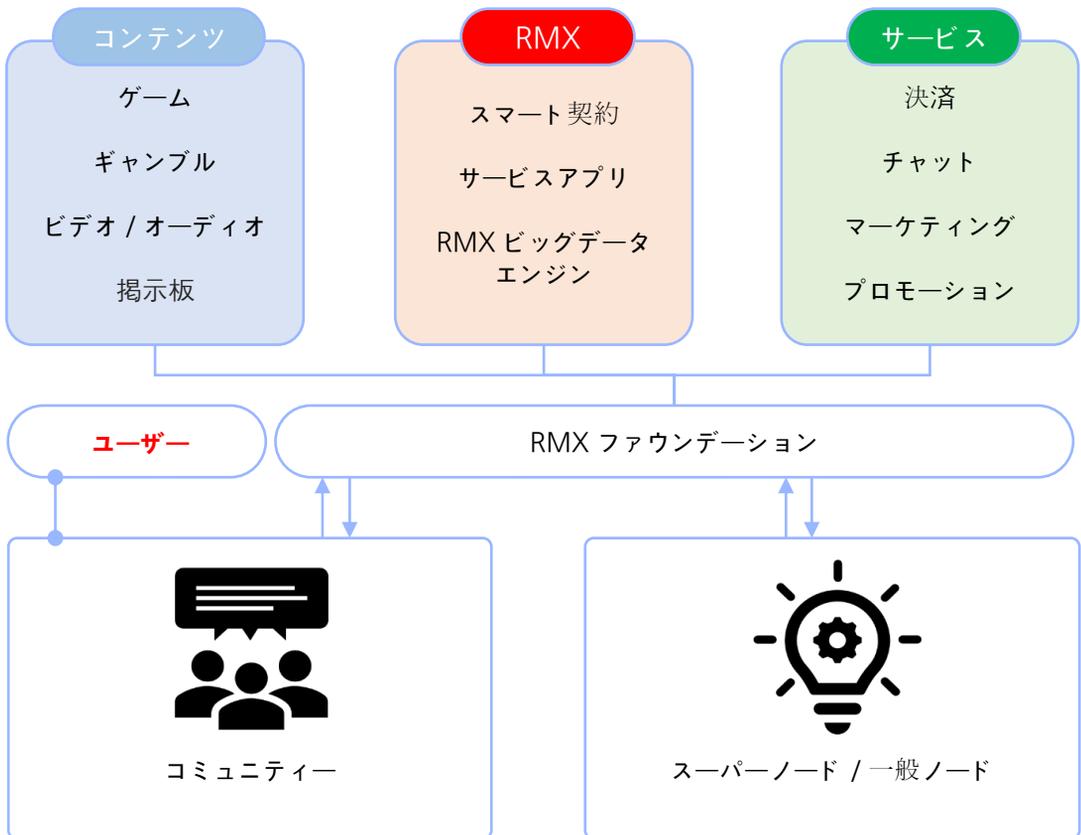
グローバルサービスの為のネットワーク

インターネットサービスは、国境や文化を超えています。グローバルコンソーシアムを通じ、RMX サービスプラットフォームからクリプトエコノミーの成長ができます。誰でも参加する事ができ、運営の主要原則の一つは、初期の参加者と後期の進入者の間に過度な喪失感を与えないことです。

RMX運営財団は、RMXプラットフォームを介して様々な参加者の目的を達成するための力と政策を提供いたします。

多様なコンテンツは、ゲームと情報活動のためのネットワークとソリューションを提供します。チャットや各種イベントは、決済サービス、補償政策などによってサポートされます。RMXは合意したトランザクションを遂行するためのスマートコントラクトと、プラットフォーム内のユーザー活動をサポートするアプリケーションで構成されます。

ユーザーとコミュニティーのメンバーは相互交流を通じて、RMXの生態系をより豊かにするでしょう。同時に、発生した収益はコミュニティーを介して、投資家とユーザー、パートナーに公平に配られるでしょう。持続的成長は優れたサービス能力を構築する資源となります。





ITO (Initial Transparency Offering)

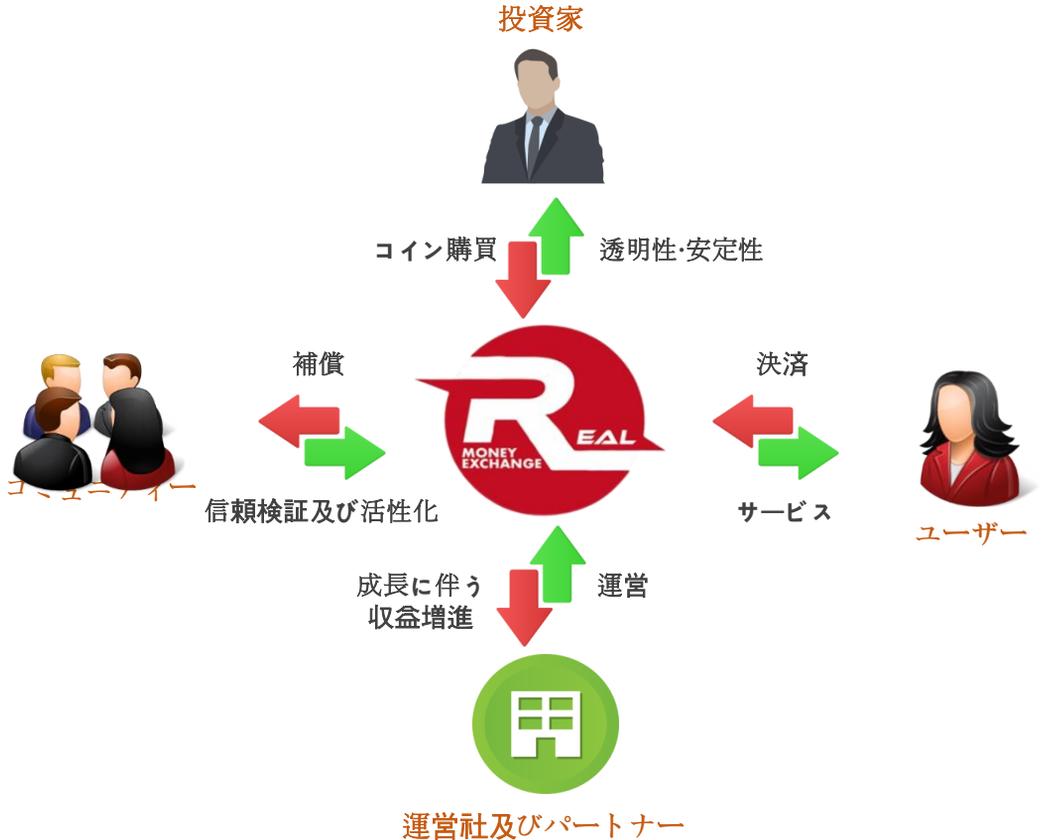
ICOはIPOから取ってきたものの、規定順守と法律的義務はそれに及ばない。管理監督の不在は、ICOの濁った市場の状況を引き起こしました。RMXは、暗号通貨販売の慣行の問題を解決するため、進歩したITO(Initial Transparency Offering)を提供します。ITOはコミュニケーションに基づき、透明性を最優先にする最初の通貨発行メカニズムです。ITOはICOと同じくトークン化したオファーリングだが、特定の規制ガイドラインを守らなければなりません。ITOは透明で、事業の資金を集めるのに有効ながらも、投資を決定する前に、大衆により多くの情報を提供します。

RMXは、事業の進行によって発生した収益をコミュニティの管轄の上、提供します。コミュニティは、収益からプロジェクトの発展を持続的に引っ張って行く原動力を提供し、これをもって、ブロックチェーンの運営財団とコミュニティを通じて、投資者とユーザーは、信頼できる準法性と透明性を維持できます。全体のプロセスは、ブロックチェーンコードのスマートコントラクトを基盤とするため、政策に対する修正は不可能です。

ITOは、クリプトエコシステムに、より多くの流動性とインフレーション防止を約束します。RMXが提供するコンテンツ、サービス、決済と取引にとって、ビジョンと公平な利益が全て確保できます。

Why we say ITO | ITOが必要な理由

Real Money Exchange

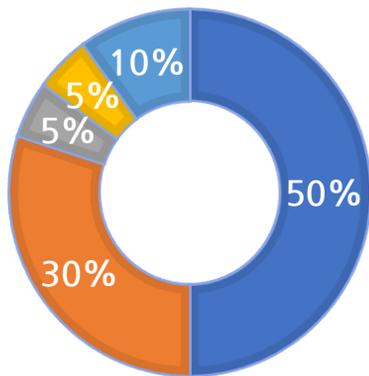


RMX ITO

区分	詳細内容
コイン名	RMX COIN
ティッカー	RMX
プロトコール	EOS
発行量	2,000,000,000 (二十億個)

● 発行

発行量は20億個で、追加なる発行はなし、プロジェクトの進行過程から部分消却される構造です。販売や公開のプロセスは、ITO(初期透明性基盤資金募集)により、販売にかかわる政策およびスケジュールを、各種のチャンネルを介して持続的に公有します。また、開発チームの保有分に対しては、3年間ロック・アップ政策が適用されます。



区分	比率	配分
Sale (販売)	50%	10億個
収益性事業	30%	6億個
取引所	5%	1億個
マーケティング&コミュニティー	5%	1億個
開発チーム保有	10%	2億個

● ホームページ

RMX オフィシャルサイト

RMX テレグラム



RMX ポリシー

RMXの運営政策は、コミュニティー活性度によって補償が変動します。誰もRMXの独占的なオーナーにはなれなく、生態系への寄与による補償が期待できます。

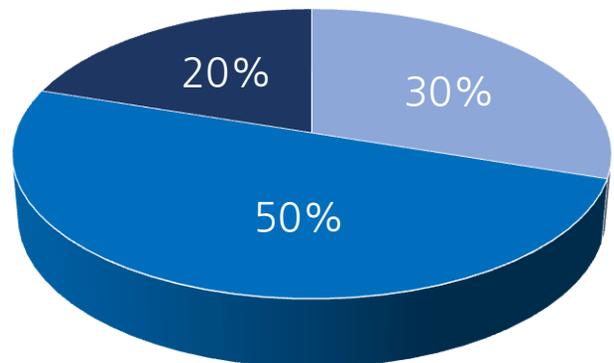
● 販売 50% (10億個)

販売金額の50%は取引所の価格ディフェンスに使用され、使用される金額はユーザーが確認できる。収去したコインは全量消却し、消却時点はプロジェクトチームから告知する。

- 取引所の上場24時間後、10%ロック解除
- 10%ロック解除以降、11日後、毎日1%ずつロック解除
- 一次販売、3億3千万個の消尽まで100時間単位で行われ、100時間単位でランキングペイバックとランキングリセット
- 二次、6億7千万個、500時間カウントダウン、残り残余数量は全量消却
- 募金はEOSで行われる
- 最低100EOSから参加可能
- 募金額が2万EOS参加ごとに難易度アップ
- 募金されたEOSは下記352プランにより、公正と透明に配分される

3 5 2 Plan

- コミュニティーペイバック 30%
- 取引所消却 50%
- プロジェクトチーム 20%



RMX ポリシー

3

コミュニティーペイバック 30%

全てのペイバックは募金されたEOSで支給され、そのうち、50%はEOSペイバック財布、50%はEOS入出金財布で支給され、EOSペイバック財布に入金されたEOSは、RMXコイン再購入に使われます。

Team Ranking
TOP10
Payback

チームランキングTOP10ペイバック 30%

EOS総募金数量とEOSペイバックの予定数量をリアルタイムで公開

Top10のチーム名、財布住所、RMXコイン交換数量、ペイバック予定EOS数量公開

- 1位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 33%
- 2位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 22%
- 3位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 11%
- 4位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 8%
- 5位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 7%
- 6位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 6%
- 7位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 5%
- 8位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 4%
- 9位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 3%
- 10位EOS総募金数量 * 30% * 30% * 1%

一次販売では100時間単位で計算し、二次は二次EOS総募金数量を基準として計算。

チームランキングTOP10は、個人やチームプレーで行われ、個人一人の場合、一人の財布に送金され、チームリーダーとチームメンバーのチームプレーで参加する場合は、チームリーダーの財布住所へ支給されるのではなく、各個人のEOS参加数量により比例算定し、参加者それぞれのEOSペイバック財布と、EOS入出金財布に5：5の比率で支給される。

RMX ポリシー

一次販売でTOP1順位の場合の例

個人が貰うEOS=一次EOS総募金数量*30%*30%*33%*

(個人EOS投資数量/チーム全員のEOS投資数量*100%)

一次100時間単位販売後、ペイバック支給、ランキング点数リセット

[ランキング順位算定基準]

- 1順位、チーム全員のRMXコイン交換数量合算
- 同じ数量のチームが発生した場合、2順位にチームメンバーの数が高いチーム
- 3順位、RMX入出金財布RMX保有量の高いチーム
- 4順位、チームRMX入出金財布RMX保有量の高いチーム
- 5順位、チームリーダーの登録期間が長い、先に入ったチーム



RMX ポリシー

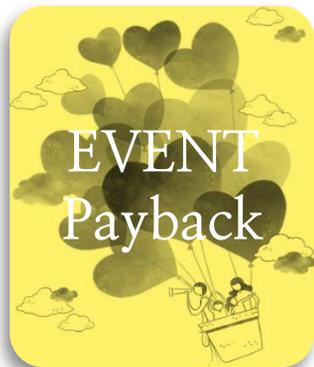


公有ペイバック60%

- リアルタイムで支給
- マルチレベルボーナス使用

1代	2代	3代~11代
5%	3%	1%

- マルチ組織11段階まで10万EOS以上の場合、チームリーダーのボーナス売上げ1.5%支給
- 2列以上は11段階まで段階別600EOS以上でなければならず、追加の3列以上は100EOSを維持してから11段階ペイバック認定
- チームボーナス1等から10等 > EOSチーム売上げ*30%*5%
- 一般投資者、最低100EOSから可能



イベントペイバック10%

- EOS総募金数量 * 30% * 10%
- RMXプロジェクトチームは様々なサービスとイベントを支援します。

RMX ポリシー

5

取引所消却 50%

販売金額の50%は取引所の価格ディフェンスに使用され、使用される金額は、ユーザーの確認が可能である。収去したコインは全量消却し、消却時点はプロジェクトチームから告知する。

2

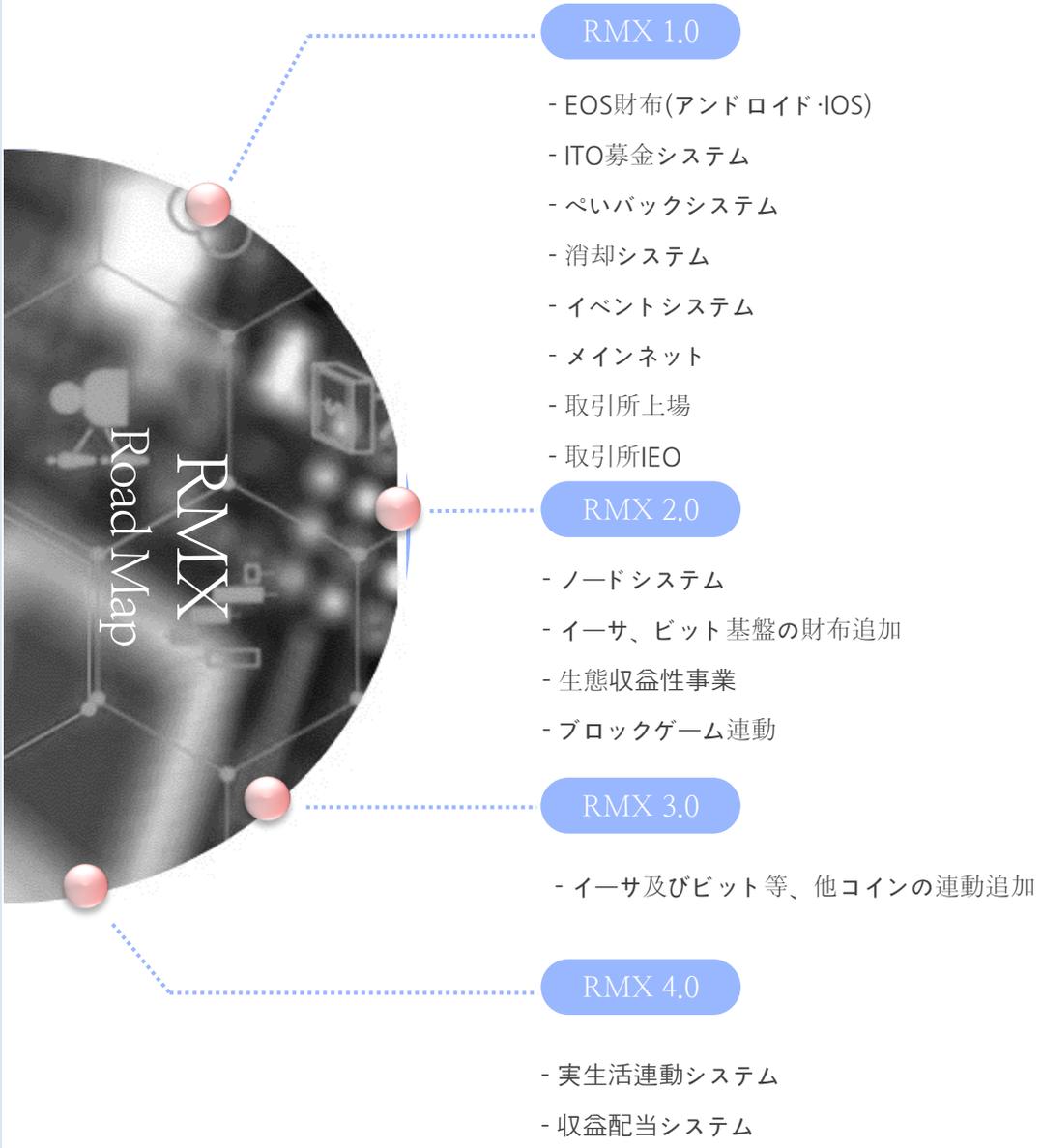
プロジェクトチーム 20%

厳しいプロジェクト管理の為、プロジェクトチームには実績に伴う補償を支給する。プロジェクトのグローバルな成功の為使用されるだろう。



RMX ポリシー

RMXは長年の間、R&Dを通じて中国、韓国、日本、ヨーロッパなどと主要なサービスの繋がりを準備してきました。持続的なビジョン創出のための計画を打立てました。



法的告知



この白書は、プロジェクトの全般的な内容と進行事項を、具体的に説明するために作成しました。

この白書は、投資などを誘いかける目的で作成したのではなく、ひたすら、情報提供の目的だけを持っています。この白書を読むすべての人々が、この白書を参考にして、発生する損害、債務など、その他の財務的な被害が発生しても、これによる賠償、補償など、その他の責任は持たないということにご注意ください。

この白書は、作成日を基準に作成し、提供するため、白書に含まれるどの内容も、将来の時点までに正確だとか、変更しないなどとのことの保証はいたしません。この白書に作成された内容は、現在の時点での判断による情報のみで、この白書をプロジェクトチームが改訂、修正する法律的な義務はありません。

プロジェクトチームは、この白書に関して、白書を読むすべての方々に、この白書に含まれるどの事項に対しても陳述および保障をならず、それについての法的責任も持ちません。

この白書は、配布、掲示、使用が禁止されている国、地域、居住者を対象にするものではありません。

この白書は、このプロジェクトでのみ利用可能で、どの目的でも、プロジェクトチームから事前に書面同意を得ていない場合は、この文書の一部、または全部を他人に配布、コピー、伝達、そして出版できません。

-RMX